

教育者「夜回り先生」 水谷 修氏が公明党を語る



「夜回り先生」として有名な水谷修先生と対談し、公明党と出合ったきっかけや、公明党への期待、いいだへのエールを送ってもらいました。



対談動画は
こちら

公明党は上から目線がない。

飯田 水谷先生は、相談を受けていた高校生が亡くなったことをきっかけに、行政の力が必要だと痛感したとうかがいました。

水谷 さまざまな政治家と会う中で、唯一、真剣に話を聴き、涙を流してくれたのが、浜四津敏子代表代行（当時）でした。あの日から公明党の仲間と共に戦っています。たくさん助けてもらいました。

飯田 公明党は昨年、結党から60年が経ちましたが、「大衆とともに」の立党精神の下、徹して現場を歩き、「小さな声」に耳を傾けてきました。党職員として働き、山口那津男元代表や石井啓一前代表の姿を間近で見てきた身としても結党当時から、その思いは全く変わらないものであると自負しています。今後の公明党にはどのようなことを期待されていますか。

水谷 公明党は上から目線がない。地方議員たちが直接国民から聴いてくる声に応えようとする。いつも受け皿になってくれています。それを絶対に守ってほしい。都民の命を守ることが、いいだ君の責任です。これまで通り国民に寄り添い、丁寧に政治をやっていけば、その誠実な思いは必ず通じると思っています。

飯田 そうした先輩の姿を見てきたことも、私が調布・狛江で政治家を目指した理由の一つです。挑戦にあたって、一言いただけますでしょうか。

水谷 いいだ君は、久しぶりに活気のある若者と会ったという印象です。調布・狛江は本当にいい街です。子どもたちが笑顔で暮らせる東京都をいいだ君の若い力でつくってほしい。



夜の街で若者に声を掛ける水谷氏と公明議員ら

子どもたちが笑顔で暮らせる東京都を。

#新しいチカラで
#未来をつくる

いいだ 健一 40歳

公明党 北多摩第三総支部青年部長



日頃より、「いいだ健一」の活動に温かなご支援を賜り、誠にありがとうございます。

中島よしお都議会議員の後継として、これまで調布市・狛江市の多くの方々と触れ合い、地域の課題やご要望をうかがってきました。

子ども・若者から高齢者まで、多くの世代が暮らす調布・狛江を、さらに暮らしやすく魅力ある街に。それが、私が都議会への挑戦を決意した当初から変わらぬ思いです。

止まらない物価高や、いつ起きてもおかしくない地震、気候変動による豪雨災害、地域の防犯対策など、解決しなければならない課題が山積しています。これからも、地域中をくまなく回りながら、お一人お一人の声に耳を傾け、「新しいチカラ」で、未来ある街づくりのため全力を尽くしてまいります。

プロフィール

1984(昭和59)年4月9日、青森県生まれ／創価大学法学部卒業後、法律事務所に勤務。大手IT企業に就職したのち、経営コンサルティング会社を起業。その後、公明党本部で山口那津男代表(当時)の広報担当として従事／妻と息子の3人家族。調布市在住／趣味は読書／特技は野球(キャッチャー)／座右の銘「至誠一貫」／防災士



いいだのホームページ・SNSはこちらから

こちらの2次元コードを読み込むと、いいだのホームページ・SNSにアクセスできます。いいだの活動や最新のニュースなどをぜひご覧ください。

いいだ健一は、法律事務所やスタートアップ(新興企業)勤務を経て、2018年に調布市で、経営コンサルティング会社を起業しました。

この間、妻と結婚し、調布市内の神代団地に引っ越し。団地の方々との温かな交流は、調布・狛江での原点の一つです。長男が生まれ、市の子育て制度や、皆さまに支えられ、子どももすくすくと育つことができました。

地域への恩返しとより良い社会の構築に向けて、調布・狛江をさらなる「イイ街」にしていきます。



いいだ健一のイイ街ビジョン

調布・狛江をさらに「住みやすく」!

- 0~2歳児の保育料無償化や18歳までの医療費完全無償化
- 再就職・スキルアップのためのプログラム充実
- 高齢者向け住宅の拡充や、買い物困難者対策の推進

「命を守る」安心の調布・狛江を実現!

- アプリやインターネットを活用したハザードマップ(災害予測地図)の普及
- 調節池や貯水池の整備や、上下水道の耐震化
- 防犯カメラの増設

「新しいチカラ」で魅力あふれる街づくり!

- デジタル行政サービスの充実(「行かない」「書かない」窓口)
- スタートアップ支援の推進
- 緊急医療サービスや夜間診療所の整備など医療アクセス向上



買い物困難者を助ける移動販売



豪雨に備えた多摩川底の掘削工事



「二十歳のつどい」にエールを送る



都議会公明党が推進



無痛分娩費用を補助

東京都は新年度から、都内で出産する際、麻酔を使って出産の痛みを和らげる「無痛分娩」にかかる費用を助成する方針を固めました。

闇バイト防犯対策を支援

町会・自治会や商店街などへの防犯カメラへの設置を補助していましたが、公明党の主張で、個人住宅のカメラや、モニター付きインターホンなどの防犯設備への補助に向けて、検討が進められています。

活動報告

「いいだ」がイイね

いいだ健一は、日々、調布・狛江を駆け回っています。
いいだの活動の一部を紹介します。

斉藤党代表と狛江市の自動運転実証実験を視察

公明党の斉藤鉄夫代表と、いいだは昨年12月、自動運転バスの実証実験を行う狛江市の取り組みを視察しました。実証実験で使用するバスはアクセルやブレーキ、ハンドルを自動制御する「レベル2」の運行ですが、来年度以降、運転手が乗らない「レベル4」をめざしています。



竹谷党代表代行と調布市の子ども・若者総合支援事業を視察

いいだと竹谷とし子党代表代行は1月17日、調布市の子ども・若者総合支援事業「ここあ」を視察し、青少年支援のあり方を探りました。同事業は相談や居場所提供、学習支援を行うもので、18歳を境に行政支援の枠組みから外れる問題などについて、意見交換しました。



災害対策「トイレカー」を視察



調布市議会公明党が強く推進し、都内で初の導入となった「トイレカー」を視察しました。

能登半島の被災地で支援に携わった経験を踏まえ、巨大地震に備えた災害対策を進めてまいります。

若者とランニングパトロール



ランニングしながら、防犯パトロールを行う「ランニングパトロール」というボランティア活動があります。この活動に取り組む「調布ヤングコネクション」の皆さんと一緒に市内を走ってパトロールしています。

活動に取り組む「調布ヤングコネクション」の皆さんと一緒に市内を走ってパトロールしています。

狛江市民まつりに参加

伝統ある「第48回狛江市民まつり」に参加しました。ステージイベント、各地の物産や市民による出店をまわりながら、ゲームや体験コーナーなどで地域の子どもたちとも交流しました。



布多天神祭りに参加

歴史ある布多天神の夏祭りに参加し、地域の方々と共に神輿を担ぎました。そのほかにも、多くの地域の夏祭りに参加させていただき、地域の方と直接交流を深めるきっかけとなりました。

